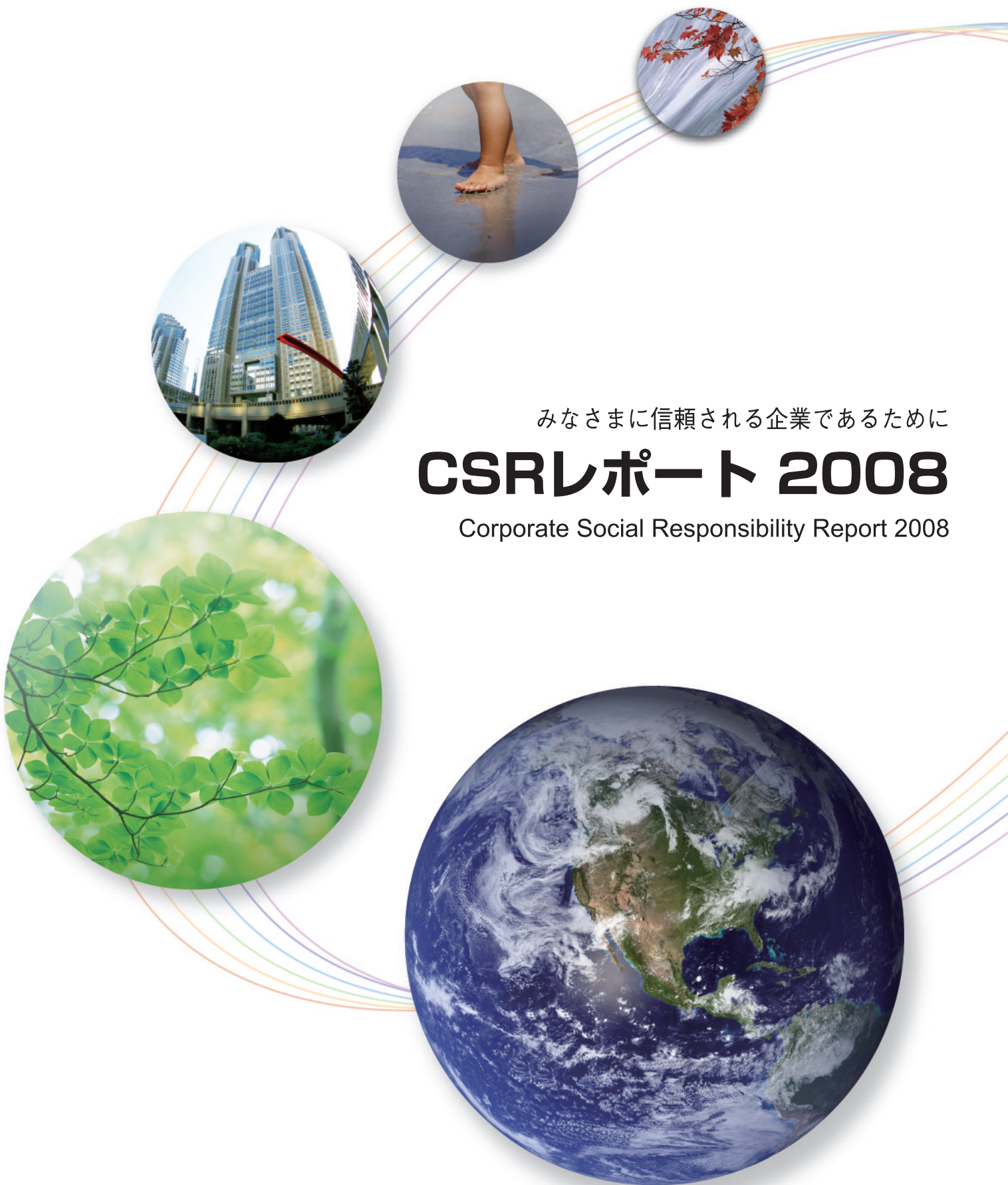


みなさまに信頼される企業であるために

CSRレポート 2008

Corporate Social Responsibility Report 2008



みなさまに信頼される企業であるために

CSRレポート 2008

Corporate Social Responsibility Report 2008



目次.....	P2
トップメッセージ.....	P3
事業活動と社会的責任.....	P4
事業概要 (会社概要)	
新・創業宣言	
行動基準 10ヶ条	

コンプライアンス P6

シーレックスグループ「倫理綱領」
コンプライアンスの推進体制
コンプライアンスの推進
コンプライアンスブックの作成と啓蒙
企業倫理相談窓口の設置
公正な外注取引への取組
危機管理体制の整備

品質保証 P9

品質保証の推進体制
2007年度の活動
2007年度「教育内容」
情報リスクマネジメント
プライバシーマークの取得
2007年度「教育資料」

社会性パフォーマンス P11

2007年度人財育成
労働安全衛生
防火・防災対策
健康管理
メンタルヘルス
基本的人権の尊重
AED
地域社会との共生

環境パフォーマンス P14

環境保護対策
チームー 6%
エコフラッグ
環境マネジメントシステムの推進
エコプロダクト・環境配慮型製品
環境ビジョン2007年度評価
省エネルギーへの取り組み
廃棄物の再資源化への取り組み

Top Message

お客様に「安心」と「便利」 そして「満足」と「悦び」を提供する企業に

わたしたちシーレックスは、事業活動そのものである“ものづくり”を通じて社会に貢献でき、信頼される企業を志して、創業以来「創造」の精神を原点に歩んでまいりました。

あらためて当社の歴史を振り返ってみますと、日本専売公社の煙草値上げシールの全量一括受注から始まり、ラベリングシステムの販売、SP(セールスプロモーション)シールの製造及びカタログ販売、多層ラベルの製造販売など過去四十数年、シーレックスは業界に先駆け、新しい仕事、新しい市場、新しい商品、新しい仕組み、新しいサービス、新しい価値を「創造」してきました。これからも、未来永劫、シーレックスは「創造」の精神を原点に活動していきます。

私は、シーレックスの使命はお客様に「安心」と「便利」そして「満足」と「悦び」を提供する企業となり、事業活動を通じ社会に貢献することだと考えています。

信頼され、必要とされる企業であるために

シーレックスが社会に貢献し信頼され、必要とされる企業であるためには、経済的側面の追求と同時に、社会貢献（地域社会との共生）、環境保全（地球環境との共生）、人権尊重など、社会的・経済的な側面にバランスよく取り組んでいくことが不可欠です。

シーレックスは、創業以来培ってきた伝統と、将来への展望の2つを視野に入れ、2004年に「新・創業宣言」を制定し、実行しております。

私は、シーレックスで働くすべての人々が、この「新・創業宣言」を自分なりに理解し、日々実践していくことが、社会・環境との共生を実現させる道と確信しています。

CSR活動の重点テーマ

「新・創業宣言」は「企業理念」、「経営理念」、「お客様の定義」、「ミッション」「企業価値」そして「行動基準」から成り立っています。また、2005年9月に「シーレックスグループ倫理綱領」を制定し、すべての役員および従業員一人ひとりが自己規律をもって、企業倫理および法令・社内規則・規程・社会規範を遵守し行動していくことを宣言しました。

この「新・創業宣言」「倫理綱領」「コンプライアンス（法令遵守）」を基本とし、重点的に取り組むテーマとして、人権尊重、環境保護、お客様保護、地域貢献の4つを定めています。

CSR活動の重点テーマ



CSRレポート発行にあたって

2007年度は食品の賞味期限切れの商品にラベルを貼り直したり、偽装表示した食品業界の不祥事から「住」および「紙」でも強度・配合偽装まで発生し、消費者の信頼を裏切る事件が増加しました。2008年度もシーレックスは「CSRの強化」を中期経営計画の重点目標に掲げ、当社を取り巻くステークホルダーとの絆を深めるために、社員一人ひとりがCSR活動により一層取り組んでまいります。

2008年4月

シーレックス株式会社
代表取締役社長

栗原 敦

事業活動と社会的責任

sealex
シーレックス株式会社

Seal"+Extension"="Sealex"

シール印刷の可能性の拡大に向けて加速中です。

イマジネーションの翼を
広げて、未来へ。

商品の顔としてのシール・ラベル。

なくてはならない情報を知らせるシール・ラベル。

迅速に商品の情報を読みとるためのシール・ラベル。

セールスプロモーションの趣旨を楽しく伝えるシール・ラベル。

シーレックスは、さまざまなシールラベルの開発と進化の全てに関わり、その可能性を拡大させてきました。

社名“Sealex”の由来は“Seal+Extension”。まさに「可能性の広がり」そのものをその名に託しています。

そしてシーレックスは、いま新たな一歩を踏み出しました。つねに商品に魅力的な付加価値をもたらすシール・ラベルの世界を基盤に、人と人とのコミュニケーションを広げる新しい情報発信メディアの世界へ。Imagination(想像力)の翼を身体いっぱいに広げて、シーレックスは次代への挑戦を加速させます。



企業理念

創業者の精神・伝統の原点「創造(クリエイティブ)」

創業以来、シーレックスの歴史はまさに「創造」の連続でした。日本専売公社の煙草値上げシールの全量一括受注から始まり、ラベリングシステムの販売。製版の内製化。一連の業務のコンピュータ化。SPシールの製造及びカタログ販売。多層ラベルの製造販売などなど過去四十数年、シーレックスは業界に先駆け、新しい仕事、新しい市場、新しい需要、新しい商品、新しい仕組み、新しいサービス、新しい価値を「創造」してきました。これからも、未来永劫、シーレックスは「創造」の精神を原点に活動していきます。

経営理念

経営者の哲学・思考

シーレックスは「高い志をもってあらゆることに挑戦する気概に満ち溢れる会社」「変化に柔軟に対応して世の中の半歩先を行く意味でのタイムリーでスピーディーに実行する会社」「他社、他人には絶対に負けない匠をもっている会社」になることを理念としていきます。

挑

チャレンジ

速

スピード

匠

プロフェッショナル

事業活動と社会的責任

お客様の定義：シーレックスのお客様の範囲・定義



シーレックスのお客様はこれまで実際にご注文を頂いている「取引先企業」が全てでした。しかし、企業の社会的責任の範囲が広がってきたことから実際に我々の作り上げたシールラベルを実際に手に取り、見て、読んで、使用される「消費者」の方々まで「お客様」の範囲を拡大することが急務であると考えます。従って、シーレックスの社員には常に「取引先企業」そして「消費者」の方々のことを考えて仕事を進めていくことが求められます。

ミッション：企業としての存在意義・基本的な使命

お客様に「安心」と「便利」そして「満足」と「悦び」を提供する。

シーレックスがこの世に存在する意義は何なのか？シーレックスがこの世に存在し果たすべき使命は何なのでしょう？それは時代時代に移り変わるお客様の要求に応じたシールラベルを提供することによって、お客様の毎日の生活に「安心」と「便利」を提供することです。また、我々が作り上げたシールラベルの品質、価格、納期などについてお客様に「満足」を提供すること、更にはお客様がシールラベルを見たり、触ったりすることによってお客様の生活に「悦び」を提供すること。それがシーレックスの存在意義であり使命です。

企業価値：お客様に提供する価値の本質を凝縮して一言で表現したもの

ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア

シーレックスがお客様に提供するべき価値は何なのか？同業他社ではなくシーレックスをお客様に選んで頂くための価値をどこに求めるのか？それは、ただ単にお客様から頂戴した原稿をもとにシールラベルを印刷加工し、お客様に提供することだけでなく、ラベリングシステムやプリンタといったハードと、キャンペーンシステムや企画広告といったソフトを、ありとあらゆるシールラベルと一緒に、小ロットから大ロットまで、多くの種類を、短納期で、廉価で、24時間、365日提供することが出来る会社です。シーレックスがお客様に提供する価値を一言で言えば、「ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア」です。

行動基準：社員に対して日常的に期待される行動指針

シーレックスで働く人々が毎日の仕事に取り組む上で常に念頭に置いて行動して欲しい基準

【行動基準10カ条】

- ①お客様の要望に応え、お客様の問題・課題を解決し、お客様の信頼を勝ち取り、お客様を創造する。
- ②新しいアイデアを常に創造し、実行し、そして社会を変革し、社会に貢献する。
- ③何事にも積極的に挑戦し、困難や競争から逃げず、最後までやり遂げる。
- ④当たり前のこと、基本的なこと、平凡なこと、小さいことの積み重ねを徹底し、確実に、正しく行う。
- ⑤いつも明るく、元気に、物事をプラス思考し、未来に希望を持ち、未来を創造していく。
- ⑥ひとりひとりが自立し、仲間とのコミュニケーションを促進し、智慧をだしあい、互いに成長していく。
- ⑦常に変化に適応し、やる気をもって、スピードをあげて実行する。
- ⑧良き地球市民として、地球環境を常に念頭に置き、これを優先して行動していく。

⇒【環境方針】

- ⑨常にお客様の品質、価格、納期要求を満たす製品を提供し続ける。

⇒【品質方針】

- ⑩個人に関する情報の重要性を理解し、安全かつ正確に徹底的に管理、保護する。

⇒【個人情報保護方針】

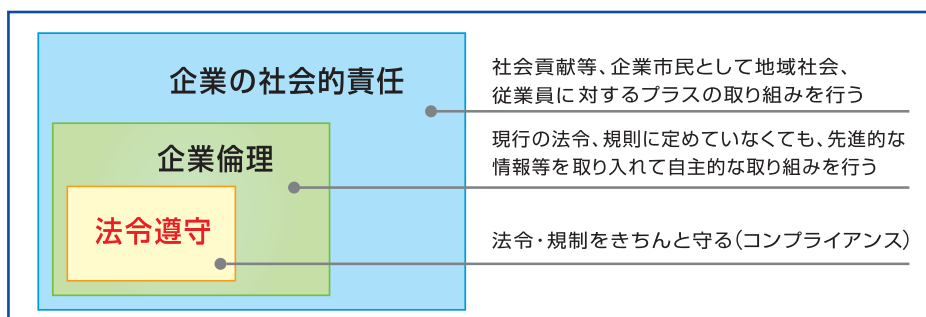
シーレックスグループでは、役員および従業員一人ひとりがコンプライアンスの精神を持ち、社会から信頼され、必要とされる企業を目指して事業活動を進めています。

社会から信頼される企業を目指して

シーレックスでは、コンプライアンスを単なる法令遵守ではなく、企業倫理や社内規則、規程まで含めた規範の遵守と位置づけています。2004年に制定した「新創業宣言」には行動基準 10ヵ条、2005年には「シーレックスグループ倫理綱領」を制定し、役員および従業員一人ひとりが自己規律をもって、行動基準の実践・倫理綱領および法令・社内規則・規程・社会規範を遵守するために周知徹底と浸透を図っております。

シーレックスグループ 「倫理綱領」

私たちシーレックスグループは、公正な競争を通じて利潤を追求すると同時に、広く社会にとって有用な存在でなければならない。そのため経営の根幹となるコンプライアンス（倫理・法令の遵守）の基本を、グループで共有し意識し徹底するために、「シーレックスグループ倫理綱領」を定め、コンプライアンスの徹底に取り組んでいます。



《顧客、取引先、他社、社会との関係》

1. 法令、社内規則、方針の遵守

私たちシーレックスの役員、従業員は、自らの業務に関連する全ての法令、規則及び社内規則、方針を遵守し。また、自らの業務に適用される法令、規則及び社内規則、方針上の要請を確認し、理解することは、シーレックス取締役、役員、従業員の責任です。

2. 消費者・顧客の信頼を獲得する

私たちは、常に顧客の満足が得られる信頼性の高い製品とサービスをタイムリーに提供します。そのために、常に品質の継続的改善に努めます。

3. 取引先、協力会社との信頼構築

私たちは、公明正大、自由な競争のもとに、購入先の選定については合理的な判断を行い、購入先や協力会社とは誠実な取引関係を継続して高い信頼を得られるように努めます。

4. 会社情報・製品情報の保全

私たちは、顧客の情報、製品に係わる情報を適正に管理し、目的以外の使用はしません。

5. 接待、贈答等

私たちは、取引先と健全な関係を築き、社会通念を超える接待、贈答の收受はしません。

6. 広告・宣伝等

私たちは、広告・宣伝等の活動で事実と反する表示・表現や誤解を与えるおそれのある表示・表現は行わないよう努めます。

7. 地域社会との共生

私たちは、良き企業市民としての役割を自覚し、地域社会の活性化に向けてスポーツ・教育振興、自然保護・環境保全、福祉支援等の社会貢献活動を積極的に行ないます。

8. 環境との共生

私たちは、環境保護を尊重し、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、化学物質の適正管理など環境保護活動を自主的、積極的に行うとともに環境配慮型商品の開発を行います。

9. 反社会的勢力との対決

私たちは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体の介入は断固として排除します。またどのような名目であっても、いかなる利益供与も行わず、警察等の関係行政と密接に連携し、協力します。

10. 関係官庁、政治家との関係

私たちは、政治、行政とは透明度の高い健全な関係を構築します。

《従業員との関係》

1. 人権の尊重

私たちは、人権を尊重し、差別的取扱を排除します。また男女共同参画社会の実現に努めます。

2. プライバシーの保護

私たちは、プライバシーを尊重し、従業員の個人情報の適正な保護に努めます。

3. ハラスメントの排除

私たちは、いわゆるハラスメント(嫌がらせ)につながる行為を排除し、公正で明るい職場づくりに努めます。

4. 政治・宗教活動の禁止

私たちは、職場において、政治、宗教等の個人的な活動は行いません。

5. 勧誘活動の禁止

私たちは、職場において、個人や特定の団体の利益を図るような勧誘活動は行いません。

6. 会社財産の適正管理・使用

私たちは、会社の財産を私的な目的で使用しません。

7. 健康的な職場環境の維持

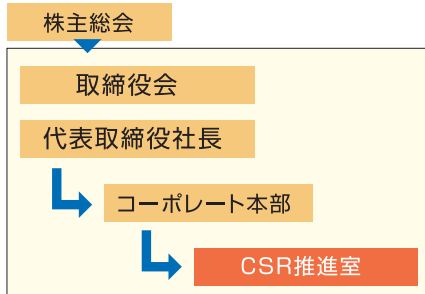
私たちは、健康的で安全で働きやすくかつ生産的な職場環境づくりを推進し、従業員の福祉の充実に努めていきます。

8. 正しい報告

私たちは、事実に基づく正確な記録と報告を行います。

コンプライアンスの推進体制

シーレックスでは2005年4月にCSR推進室を設置し、行動基準の実践・倫理綱領および法令・社内規則・規程・社会規範を遵守するために周知徹底と教育を行っております。



●コンプライアンス推進体制

法令・規則をきちんと守る(コンプライアンス(法令遵守))

現行の法令、規則に定めていなくても、先進的な情報等を取り入れて自主的な取り組みを行う(企業倫理)

社会貢献等、企業市民として地域社会、従業員に対するプラスの取り組みを行う

コンプライアンスの推進

企業が社会的責任を果たすためには、社員一人ひとりが法令遵守と企業倫理を徹底することが必要です。

コンプライアンスブックの作成と啓蒙

2004年に「新・創業宣言」、2005年には「シーレックスグループ倫理綱領」を制定しました。これらを確実に実践していくために、シーレックスグループで働く全員が、知らなくてはいけない、そして絶対守らなければならない、主要な法令を中心にした「コンプライアンス(法令遵守)ブック」を作成しました。08年4月には改訂版を作成し、周知徹底を図っております。



●コンプライアンス(法令遵守)ブック

企業倫理相談窓口の設置

シーレックスでは2006年7月に「シーレックス株式会社 企業倫理相談窓口設置規程」を制定し、内部通報制度を開設し、運営を継続しています。通報を受け付ける窓口を「CSR推進室室長」、社員だけではなく、パート・アルバイト・派遣及び関連会社の従業員ならびに取引事業者の従業員が利用できます。

万が一、法令・社会規範・会社規程(ルール)・シーレックスグループ倫理綱領に違反する行為を発見した場合、速やかに上司、若しくは企業倫理相談窓口に連絡する仕組で構成され2006年4月施行の「公益通報者保護法」に準拠しています。



●企業倫理相談窓口ポスター

公正な外注取引への取組

●下請法の遵守

お客様の多様なニーズに応えるために、当社は数多くの協力事業者によりご支援をいただいています。

公正な外注取引の実現に向けて、特に下請法の遵守については、個々の外注取引を管理する窓口部門に対して、教育および情報提供を実施しております。

●基本取引契約書の取り交わし

当社では、すべての協力事業者の間で「基本取引契約書」を取り交わし、公正かつ透明性の高い外注取引慣行の確立運用に努めています。



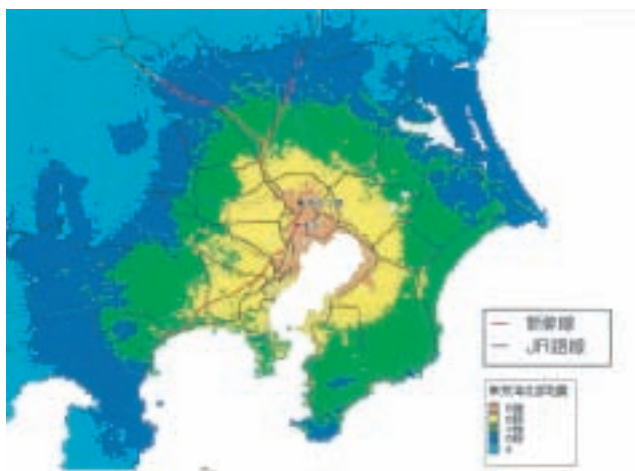
危機管理体制の整備(シーレックス事業継続計画書の策定)

昨今、大地震や大規模風水害などの自然災害、製品事故、情報システムの障害など、企業経営基盤を揺るがす様々なリスクが続発しています。これらのリスクに対し事前対策が未実施により企業はダメージを被り、さらにはステークホルダーへ影響が波及することが生じています。このような被害を未然に防止あるいは回避、また発生した場合には被害、影響を最小化するためBCP構築の必要性が社会的に高まっており、2006年度に工場中心のBCPを策定し、2008年度は首都圏直下型地震を想定したBCPを策定しました。2008年度は、シーレックス事業継続計画書に沿った避難訓練を実施していきます。

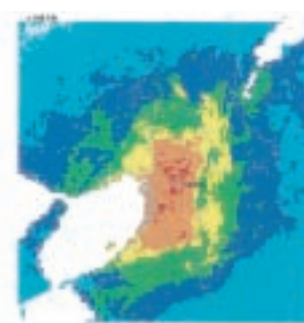


事業継続基本計画書

- | | | |
|---|--|---|
| <p>1 事業継続の基本方針</p> <p>1.1 事業継続の定義と適用</p> <p>1.2 基本方針</p> <p>1.3 対象範囲</p> <p>1.4 対象とするリスク</p> <p>2 被害想定</p> <p>2.1 本社の地震リスク</p> <p>2.1.1 東京湾北部地震の規模</p> <p>2.1.2 台東区の被害想定</p> <p>2.1.3 本社の被害想定</p> <p>2.2 大阪支店の地震リスク</p> <p>2.2.1 上町断層帯地震の規模</p> <p>2.2.2 大阪府の被害想定</p> <p>2.2.3 大阪支店の被害想定</p> <p>2.3 東北工場の地震リスク</p> <p>2.3.1 長町一利府線断層帯地震の規模</p> <p>2.3.2 宮城県の被害想定</p> <p>2.3.3 東北工場の被害想定</p> <p>2.4 兵庫工場の地震リスク</p> <p>2.4.1 兵庫工場で想定される地震</p> | <p>3 発災時の初動対応</p> <p>3.1 災害対策本部の設置</p> <p>3.2 防災対策班</p> <p>4 発災時の初動対応</p> <p>4.1 機種別、商品別検証</p> <p>4.2 協力会社一覧</p> <p>4.3 主な材料メーカー一覧</p> <p>5 重要業務と復旧目標</p> <p>5.1 事業継続の基本的な考え方</p> <p>5.1.1 生産に関する業務</p> <p>5.1.2 経理に関する業務</p> <p>5.2 復旧目標時間</p> <p>5.3 復旧手順</p> <p>6 事業継続のための対策</p> <p>6.1 重要業務従事者の行動基準</p> <p>6.2 重要拠点の確保</p> <p>6.3 対照的な情報発信と情報共有</p> <p>6.4 情報システムのバックアップ</p> <p>6.5 生命の安全確保と安否確認</p> <p>6.6 二次災害の防</p> | <p>6.7 地域と協調・地域貢献</p> <p>6.8 備蓄品</p> <p>6.9 財務手当</p> <p>7 BCPの運用</p> <p>7.1 運用と周知・定着</p> <p>7.2 BCP訓練と見直し</p> <p>7.3 検討課題項目</p> |
|---|--|---|



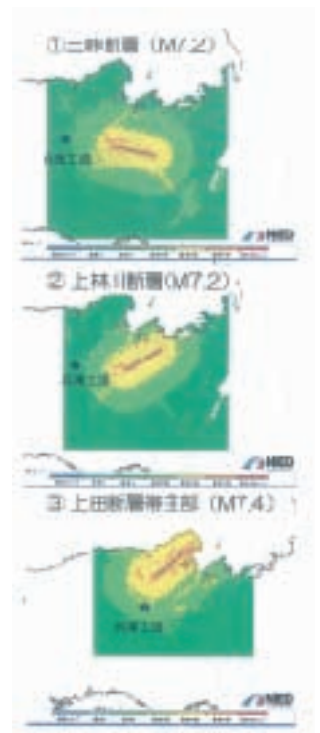
東京湾北部地震の規模



上町断層帯地震の規模



長町一利府線断層帯地震の規模



兵庫工場で想定される地震

「お客様へ、つねに最良、最適の品質を提供」をテーマに 妥協のない品質マネジメント(QMSの構築)

シーレックスは、お客様へ最良・最適の品質をご提供するために、全社的な品質保証の強化を推進しています。顧客満足の更なる向上を目的に、『ISO 9001:2000』規格に基づく品質マネジメントシステム(QMS)の維持・改善に全社を挙げて取り組んでおります。

品質保証の推進体制

シーレックスの品質保証体系は
①供給製品自体の要求事項の適合②モノ作りに携わる人々の力量教育③製品を作る上での管理施策④製造に伴う設備機器と環境整備、として顧客満足の向上を目指して、品質マネジメントシステム(QMS)の維持・改善に取り組んでおります。

シーレックス品質方針

シーレックス株式会社は、シール・ラベルの製造において、顧客満足の向上を目

指すために、全員で品質マネジメントシステムを確立し、品質の継続的改善・向上を行う。
2001年12月18日 制定



● JISQ9001:、ISO9001:2000を認証

2007年度の活動

シーレックスが考える「品質保証」は単に生産部門や品質保証部門だけの問題ではなく、お客様へ最良・最適の品質を適正な価格で納期通りにお届けするために、営業・開発、企画から製造・デリバリーに至るすべての工程における品質を保証する考え方で取り組んでおります。2007年度においても、品質マネジメントシステム活動がより有効に機能させるための教育を個人情報(JISQ15001)教育と同時に行いました。

2007年度「教育内容」

- | |
|----------------------------|
| ①各マネジメントシステムに適合することの重要性と利点 |
| ②各マネジメントシステムに適合するための役割と責任 |
| ③各マネジメントシステムに違反した際に予想される結果 |
| ④内部監査などでの過去の指摘事項の重要事項 |
| ⑤緊急事態への対応手順 |

シーレックスでは「教育訓練」を通じて自主管理レベルの向上を図り、マネジメントシステムにより、お客様の期待を上回る成果を出し、お客様の満足度を高め、世界の品質を実現する原動力として日々維持・改善に努めております。

情報リスクマネジメント

シーレックスは「個人情報保護方針」を掲げ、すべての社員による情報管理の適正な運用、情報取扱いにおける事故撲滅を重点課題として推進しています。

プライバシーマークの取得

シーレックスは2003年にプライバシーマーク(JISQ15001)を全社で取得して以降、管理体制の構築を推進しています。

2005年の個人情報保護法の全面施行を受けて、2006年5月にプライバシーマーク(JISQ15001:2006)に移行されました。それに伴い、シーレックスの規程およびコンプライアンスプログラムを抜本的に見直し、JISQ15001:2006に適合した個人情報保護マネジメントプログラムを構築し、2007年7月に更新審査を受けました。

社員教育

シーレックスは個人情報保護教育を重視し、個人情報保護方針、個人情報保護規程等を中心に全従業員に教育を推進しました。また、全従業員に配布した「法令遵守ブック」にも記載し、周知徹底を図っています。各事業所個人情報管理者には、JISQ15001:2006に適合した個人情報保護マネジメントプログラムの具体的な運用の研修および勉強会を開催しました。



● プライバシーマーク

2007年度「教育資料」

個人情報保護に関する当社規程・マニュアル類

1	個人情報保護方針	5	施設設備管理要領	12	個人情報管理関連法令・ガイド
2	個人情報保護規程	6	情報システム一般要領	13	リスク評価マニュアル
(↑上位文書 ↓ 下位文書)		7	情報管理一般要領	14	個人情報取扱一般マニュアル
1	個人情報保護役割一覧	8	個人情報インシデント管理要領	15	個人情報取り扱い契約
2	個人情報保護運用要領	9	個人情報関連業務委託管理要領	16	ウィルス対策マニュアル
3	個人情報取扱要領	10	個人情報問い合わせ受付マニュアル	17	直接書面同意書
4	社員情報管理要領	11	個人情報保護文書管理要領		

シーレックス個人情報保護方針

○ 基 本 理 念

当社は、創業者の精神・伝統の原点である「創造(クリエイティブ)」という企業理念に基づき、新しいサービス、新しい価値を創造してまいりました。この企業理念実現の基盤の一つとして、当社は、社会の一員として企業の社会的責任を果たすことが非常に重要な活動であると考えております。

今日、個人情報保護は企業としての重要な社会的責務であり、当社においても最も重要な活動の一つとして位置づけ、当社の事業ドメインである、シール印刷に関連したサービスや商品提供において、個人情報保護活動は、社会的責任を果たすだけでなく、お客様のみならず、あらゆるステークホルダー(利害関係者)に「安心」や「満足」をもたらす新たな価値創造であると考えております。

このため、当社では、個人情報保護についての「個人情報保護マネジメントシステム」を制定し、お客様やステークホルダーの皆様の個人情報の適切な管理と保護を行い、その信頼にお応えいたします。

○ 基 本 方 針

1. 当社は、シール印刷等、当社の業務を遂行するために個人情報を取得する際には、利用目的を具体的に特定し、その利用目的の範囲内で利用及び提供を行います。

また、本人から同意を得た利用目的を超えた利用又は提供を行う場合は、事前に本人の同意を得るものとします。

2. 当社は、個人情報の取り扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守いたします。

3. 当社は、当社が取り扱う個人情報の漏えい、滅失、き損及び個人情報への不正アクセスを防止するとともに、それら個人情報保護対策の是正に努めます。

4. 当社は、当社が取り扱う個人情報に関する個人情報相談窓口を設置し、苦情、相談、及びその他問い合わせに適切に対応いたします。

5. 当社は、個人情報保護の活動を日々向上させるために、個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善を行います。

制定日：2002年 11月 11日
改訂日：2006年 10月 10日
シーレックス株式会社
代表取締役社長 栗原 敦

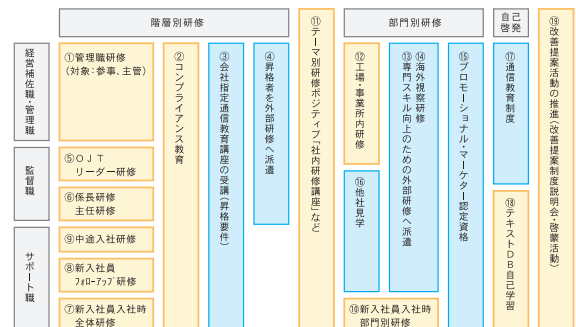
人財育成の強化

シーレックスは、シーレックスで働く人は「人材」ではなく「人財」とであると、これまで人のもつ無限大の可能性を信じて「企業の競争力の源泉は人」「一人ひとりの成長の総和が企業発展の基盤」という考えのもと、人を機軸においた経営、人を育てていくことを重視した経営を貫いてきました。人財力の強化・充実にこれまで以上に取り組んでいきます。

2007年度人財育成

当社の「原点」である「シール・ラベル印刷事業」はお客様から見て、特許や規制やブランドなど他に選択肢がない価値を提供している事業ではありません。他社の商品と比べて、「ちょっと品質がいい」、「ちょっと納期が早い」、「ちょっとサービスがいい」といった「ちょっとした違い」を如何に創り出せるかが勝負の分かれ目になります。その「ちょっとした違い」の有無こそが選ばれる会社(商品・製品)と選ばれない会社(商品・製品)を分けるポイントになります。

「ちょっとした違いを創り出す」のはシーレックスで働く社員です。「ちょっとした違いを創り出す」人財を育成するため、2007年度は次のように取り組みました。



1. 通信教育講座の受講

自己啓発の通信教育に225名が受講しました。前年の253名には及びませんでしたが、社員数が300人であることを考えれば依然、高い受講率を維持していると思います。

また、当社では会社が指定した通信教育講座の修了を昇格要件のひとつとしています。昇格要件の通信教育講座に60名が受講しました。



2. プロモーション・マーケター

プロモーション・マーケティングは「ブランドの顧客開拓と維持のために、限定された期間に、消費者、小売業者あるいは卸売業者に向けた直接的購買動機づけを中心にマーケティング活動である。」と定義されています((社)日本POP広告協会)。

当社の営業部門は、プロモーション・マーケター認定資格試験に挑戦し、2007年度は17名が合格し合格率は77.4%、主催者発表の合格率64.9%を大きく超えました。

3. 海外展示会への視察

毎年、海外の展示会に社員を派遣し、最新の技術・製品情報を収集し、業務に活かしています。2007年度は、ラベルエキスポ(9/23~9/26)に4名、米国包装展(10/14~10/19)に2名、CES国際家電ショー(2008年1/7~1/10)に2名と、合わせて8名を海外展示会に派遣しました。

4. OJTリーダー「傾聴」研修

兵庫工場、東北工場で、新しく入社する人の指導を行う人を対象に、「傾聴」を主体とした研修を行いました。二人一組で「傾聴」を体得できるロールプレイを行い、傾聴の重要性について学びました。

5. 新入社員研修

4/2~4/5の4日間、本社で入社時の集合研修を行いました。「シーレックスの歴史」「コミュニケーション講座」「就業規則」「印刷概論」「取扱商品の説明」「改善提案制度」「通信教育制度」「安全衛生」「5S」「ISO」「プライバシーマーク」など、シーレックスで働くうえで必要なことを学びました。



新入社員フォローアップ研修(10/12・10/13 兵庫工場)

また、10/12~10/13の2日間、兵庫工場でフォローアップ研修を行い、入社して半年間を振り返り、今後の目標設定を行いました。

6. 改善提案制度

2007年度(1~12月)に提出された改善提案件数は、237件でした(前年比-43件)。工場では1人、毎月1件ペースで提出されていますが、営業部門、管理部門の提出が少なく、後半に、ベンチマーキング提案を推奨し、提出件数の増加を企図しましたが、前年を上回ることにはできませんでした。「ちょっとした違いを創り出す」には社員一人ひとりの改善提案が必要であり、次年度も引き続き社員に対する啓蒙を行います。

7. 昇格者を外部セミナーに派遣

新しく部長、課長に昇格した社員を東京商工会議所主催の合宿研修(夢科フォーラム)に派遣しました。社外の人と触れ合うことにより、たいへん刺激を受けたと好評でした。



従業員の安全と健康のために

シーレックスでは、従業員が安全で安心して働ける職場環境を実現させることが、社会的責任を果たすだけでなく、生産性の向上につながると考えています。

労働安全衛生

労使による安全衛生委員会（衛生委員会）を設置し、労働災害の撲滅をめざしています。安全のヒヤリハットの意見収集、リスクの洗い出しおよび評価を行い、「安全衛生委員会」の機能充実と労災事故「ゼロ」の実現、「危険ゼロ」への挑戦へ取り組んでいます。

防火・防災対策

シーレックスは自然災害時の従業員及び顧客の安全確保、事業所復旧対応、家族への支援、地域住民への支援を目的として、2006年度に工場中心のBCPを策定し、2008年度は首都圏直下型地震を想定したBCPを策定しました。今後、「基本計画書」に基づき訓練を実施していきます。



事業継続基本計画書



生活習慣病への罹患を未然に防ぐとともに、老若男女を問わず社員一人ひとりが生活習慣の現状を振り返り、また、行動変容を実践し得るよう、自ら「健康宣言」を行い、生活習慣の改善に取り組んでいます。今年度も引き続き「健康宣言チャレンジ」に参画し、生活習慣の改善を図り、健康の保持増進を図って参ります。

メンタルヘルス

従業員の健康対策の一環として、2007年度も外部機関を活用し、「心とからだの健康チェック」をシーレックスグループで働くすべての従業員に実施しました。診断の結果、前年より改善が認められており、引き続き心とからだの健康に取り組んでいきます。

基本的人権の尊重

いかなる関係者に対しても、人種、民族、国籍、宗教、信条、出身地、性別、年齢、身体的特徴などを理由とする差別をいっさい行わないことを「シーレックスコンプライアンス」ブックに明記しています。セクシャルハラスメント、パワーハラスメントについては2007年度もアンケートを行い、結果を管理職に啓発活動を継続的に実施しています。

AED

AED（自動対外式除細動器）の導入、各事業所で「普通救命講習」を次のとおり実施。2007年7月25日、東北工場で12名が講習会を受け、東京工場、本社、兵庫工場、大阪支店と順次、開催された。



健康管理

疾病の予防と早期発見、健康の保持増進を目的に定期検診を実施しております。定期検診の検診結果に基づく産業医、管理衛生士による健康指導を行っております。2007年度は印刷健康保険組合が提唱する『健康宣言チャレンジ』に参画し、55名の方が「歯磨き」「ウォーキング」「禁煙」「ダイエット」に挑戦しました。

メンタルヘルスホットライン (相談窓口)

ウェルリンク株式会社

Self健康相談室

(心とからだの健康相談、)

専門カウンセラーが対応します)

電話: 0120-556-387 コロミ(〒)ナツウ

e-mail: support@wellink.co.jp

セクハラ・パワハラホットライン (相談窓口)

株式会社ヒューマンプライム

電話: 03-5294-0233

e-mail: info@humanprime.co.jp

2005年度に自然災害特に、強度の地震が起こった場合に備え「シーレックスサバイバルカード」を作成し、従業員に携帯することを義務づけました。

サバイバルカードの内容は

1. 地震発生時初期動作 グラツときたら大声で呼びかける
2. 揺れが治まってから行動 生き残ったら仲間や隣人を助ける
3. 家族との連絡災害用伝言ダイヤルの使い方
4. 家族避難場所・連絡先
5. 会社への連絡要領 部下から上長に連絡するまず上司へ電話
6. 災害発生時にかかり易い電話の順番
7. 災害発生時の携帯電話について(帰宅困難に備えて) iモード災害伝言板利用方法等について列記しています。

第一撃から生き残るための
サバイバルカード

sealex
シーレックス株式会社

地域社会貢献活動

私たちは、良き企業市民として、その地域社会の共生がたいへん重要な活動ととらえています。事業所ごとの活動を紹介します。

地域社会との共生

シーレックスの各事業所は、さまざまな活動を通じて地域社会とのコミュニケーションを深めています。事業所周辺の清掃、工場見学や実習生の受入れ、地域主催のイベントへの参加等、地域に根ざした活動を展開し、企業市民として地域社会との共生を図っています。

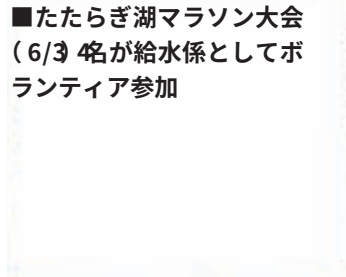


コミュニケーション

清掃活動／工場見学／防災活動
地域主催行事・イベントへの参加
地域自治会との交流
献血運動／マッチングギフト



■兵庫工場
「但馬 10万人のクリーン大作戦 (6/1)」に 20名が参加いたしました。



■たたらぎ湖マラソン大会 (6/3) 4名が給水係としてボランティア参加

■近隣小学校の工場見学
近隣の小学校 3校から 3年生 計 90名 (各 30名) が兵庫工場を見学。



■東京工場
「足立区門掃き支援活動」東京工場で毎月水曜日に周辺約 100m四方を 4ブロックに分け、ゴミの収集を行っています。



■大阪支店
「支店近辺道路の清掃活動」

■東北工場
・工場周辺の清掃活動
・献血活動
・障害者のインターンシップ受け入れ

環境マネジメント活動

●国際規格ISO14001:2004に基づく環境マネジメントシステムを構築し、グループ全体が共通認識のもと環境保全活動を推進しています

環境マネジメントシステムの構築

環境保護対策 (地球環境との共生)

シーレックスは創立時の経営理念である「私たちは常に地球環境を念頭におき行動します」を基に、1999年4月にISO14001認証を取得、2005年4月にISO14001:2004をシーレックスグループで取得し、環境保全活動を経営の重要なテーマとして取り組んでおります。

また、2004年度に制定しました新創業宣言に社員の行動基準として「良き地球市民として、地球環境を常に念頭に置き、これを優先して行動する」ことを明記しました。

2005年度よりチーム-6% GSA(グローバルスポーツアライアンス)に登録し、環境保全活動を推進しています。

2007年度更新審査時に広島営業所、京都営業所の2事業所を新たに登録いたしました。



●『ISO 14001』JIS Q 14001を
10サイトで認証取得



●環境保護対策社内シンボルマーク

チーム-6%

<100万人のキャンドルナイト>

100万人のキャンドルナイトは夏至の日に『電気を消してスローな夜を』と呼びかけ、電力消費を抑えるキャンペーンとして、毎年広がりを見せています。シーレックスもこのキャンペーンに参加し、スローな夜を過ごしました。



<クールビズ>

当社では環境保護の一環として6月から9月までの3ヶ月間を「クールビズ」月間としてノーネクタイ等の軽装を推奨し体感温度を下げ、室内のエアコンの設定温度を上げるにより、使用する電力量を減らし二酸化炭素の排出量削減に貢献しております。



<屋上緑化作戦>

当社、大阪支店の屋上に庭園を造りました。ささやかな庭園ですが、夏場の断熱、冬場の保温、建物の保護、更には人間の心理に及ぼす豊かさや安らぎ感の向上といった様々な効果が期待できます。



エコフラッグ (GSA)

スポーツ愛好家は、きれいな水と空気、すなわち地球環境の大切さを知っています。そして、未来世代のためにも、開発やビジネスなどの人間活動が自然生態系を破壊し、環境を汚染しないような新しい社会を創りたいと願っています。そして、そんな強い思いを持った仲間たちが集まって設立したNPOがグローバル・スポーツ・アライアンスです。



●グローバル・スポーツ・アライアンス
<http://www.gsa.or.jp/>

シーレックス環境方針

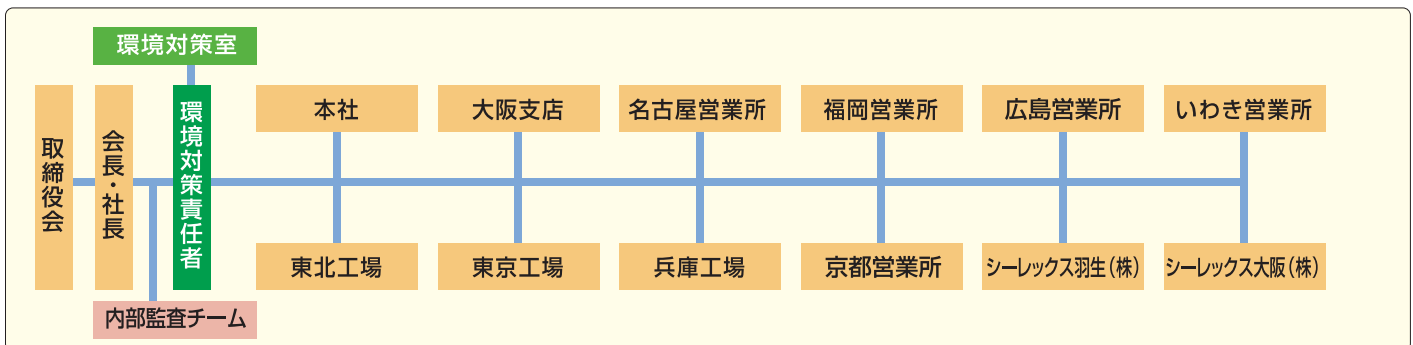
○ 基本理念

シーレックスは常に「かけがえない地球」の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責任であり、義務である」を念頭におき、環境と調和した循環型社会をめざし、事業活動のあらゆる面で、環境保全に配慮し行動します。

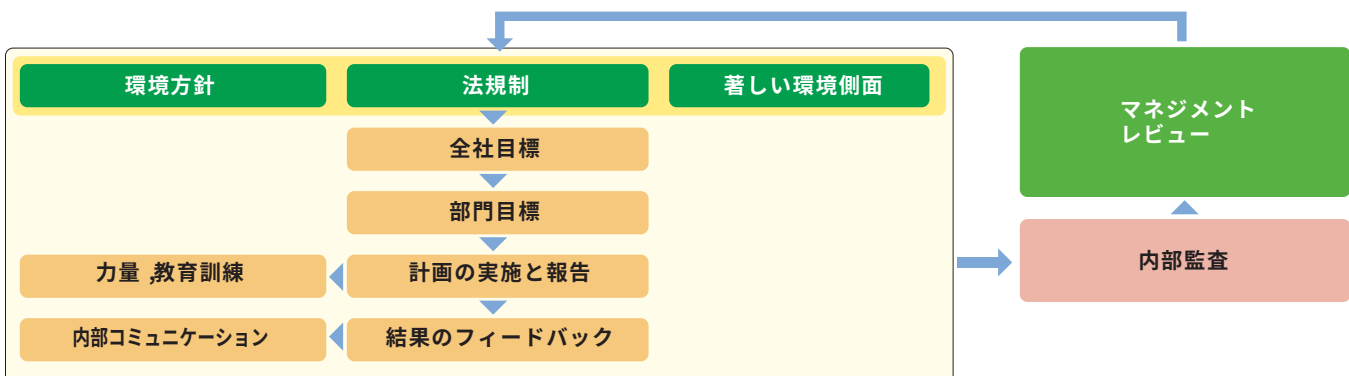
○ 基本方針

- 1.シーレックスは事業活動において地球環境の保全を推進するため、組織を整備します。
- 2.事業活動が環境に与える影響を捉え、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境保全活動を推進し、継続的改善を図り、環境汚染の予防に努めます。
- 3.環境関連の法律、規制および協定などを遵守するとともに、自主管理基準を設定し環境保全に取り組みます。
- 4.事業活動の全領域で省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物削減に取り組みます。
- 5.環境に配慮した商品づくりおよび技術開発を行うとともに、グリーン調達を推進を図ります。
- 6.環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努めます。
- 7.環境教育を実施し、全社員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図ります。
- 8.社会とのコミュニケーションに努め、地域社会の環境活動に、積極的に貢献します。

環境マネジメントシステムの推進



●環境マネジメント推進体制

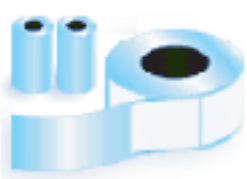


●PDCAサイクル

エコプロダクト・環境配慮型製品

シーレックスは、企業の社会的責任(CSR)を果たすために、「地球環境との共生」を目的とした環境保全活動に取り組んでいます。再生材料の使用やリサイクル可能ラベルなど、環境への負荷低減に向けた環境配慮型製品をご用意しています。

シーレックスの環境配慮型製品



再生可能剥離紙

ラベルを使用した後に残る剥離紙を、産業廃棄物ではなく古紙として再生処理することができます



生分解性プラスチックフィルムラベル

ラベル素材と糊の両方が植物由来の原料をベースに作られています



サーマルリサイクル

自社工場から出るタックラベルロス紙や剥離紙を固形燃料化し、発電用原料として再利用しています

環境ビジョン2007年度評価

シーレックスは環境方針の基本理念を実現させるために、具体的な活動の方針を示しています。

評価基準:数値化目標については下記の基準で評価

S:目標を大幅に上回る成果が上がった

A:目標を十分に達成できた

B:積極的に取り組んでいるが、目標にいたらなかった

C:取り組みが不十分

(数字評価は 2007年 6月～12月の実績を基に予測)

方針	目的	目標	評価
法規制の遵守	排水管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	○
	騒音管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	○
	特別管理産業廃棄物の 管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	○
	使用禁止物質の購入規制管理 を継続的に行う	・遵法制の評価実施	○
産業廃棄物の削減、リサイクル化	リサイクル化の推進	・リサイクル率を 98%以上にする ・廃棄物の分別、保管方法の維持推進を行う。	S
	材料在庫を低減する	・材料在庫金額を 2006年度比 10%削減する	B
	製品在庫を低減する	・製品在庫を 2006年度比 10%削減する	B
多層ラベルの開発改良及び拡販	多層ラベルの拡販を行う	・拡販活動の実施 ・多層ラベルの販売を拡大する	B
グリーン調達	エコカーの購入を推進する	・全社保有台数の 100%をエコカーにする	B
	グリーン購入を推進する	・グリーン購入の実施 ・グリーン購入基準の改善	A
	リサイクル可能剥離紙の 使用推進を行う	・再生可能な剥離紙タイプの材料を客先に紹介する ・使用量を 2006年度比 10%に増やす	○ B
CO2の削減	CO2排出量原単位 (CO2排出量/売上高)の削減	・2006年度対比 2%削減する。	A

省資源・省エネルギーをはじめとする 環境負荷削減に取り組んでいます。

2007年度のCO₂および産業廃棄物の排出量の削減は出来ませんでした。

しかし、原単位(排出量/売上げ)の推移は、昨年対比で7～9%の改善が推進できました。

今後は、CO₂および産業廃棄物などの環境負荷物質の排出量の削減に取り組んでまいります。

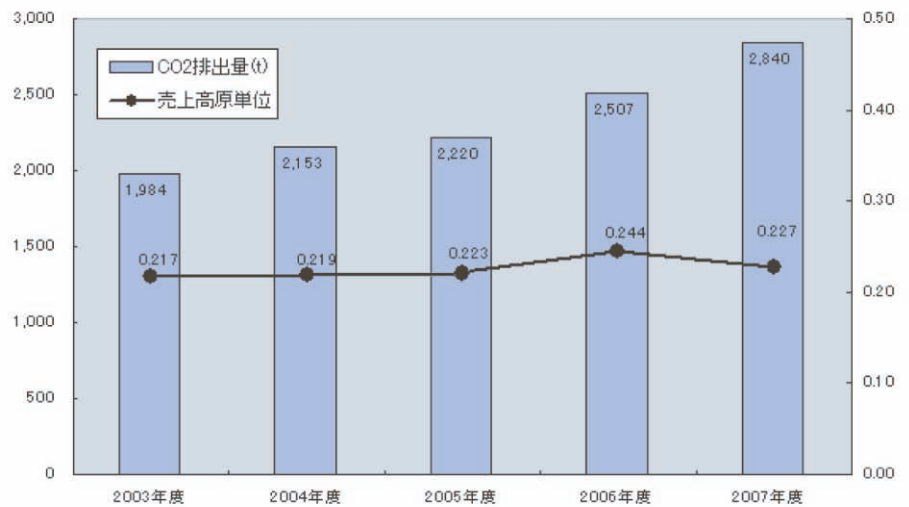
省エネルギーへの取り組み

シーレックスは、二酸化炭素(CO₂)の排出量を抑制するため、省エネルギーに取り組んでいます。

CO₂排出量は前年対比113%増加。売上原単位(CO₂排出量/売上げ)比較では約7%の改善が出来ました。今年度は売上げ増加に伴い、原単位目標を達成することが出来ました。

(注) CO₂排出量は環境省の算出基準に基づく
対象エネルギー：電気

＜CO₂排出量／売上高原単位の推移＞



廃棄物の再資源化への取り組み

シーレックスは、産業廃棄物の再資源化を推進するため、徹底した分別管理を行い、固形燃料化(RPF)に取り組んでいます。

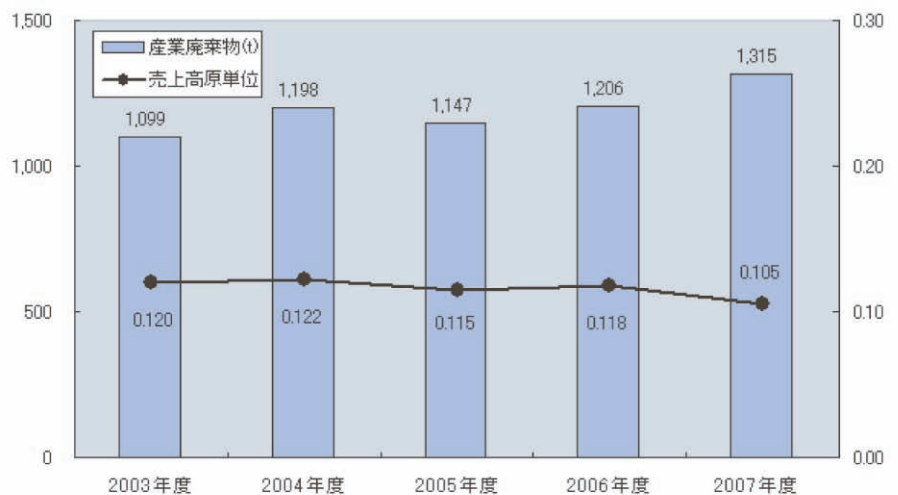
2006年度に全社でリサイクル率98%を達成し、今年度も継続しております。

2007年度廃棄物の総排出量は前年対比で9%増加。売上原単位においては目標を約10%達成することが出来ました。

今後の課題としましては、廃棄物排出量の抑制に努力してまいります。

(注) 関連会社の数字は含みません

＜廃棄物排出量／売上高原単位の推移＞





シーレックス株式会社 Sealex Corporation
〒111-0052 東京都台東区柳橋1-1-11
<http://www.sealex.com/>

お問い合わせ先

本社CSR推進室 TEL.03-3862-7246